

＼ひとりひとりがよりよく生きる！／

小学校特別支援学級の 自立活動の進め方

～はじめの第一歩～



はじめに

「自立活動」の指導が

★いつ

★どのように

行われると効果的なのか知っていただき、

特別支援学級の担任の先生はもちろん

交流学級の担任の先生をはじめとした、

全ての先生方の指導に生かしていただけたら

幸いです

もくじ

1. 「自立活動」の位置付け
2. 「自立活動」でめざすこと
3. 自立活動の指導内容って？
4. 指導はいつするの？
5. 効果的な指導はどのように進める？
6. 実態把握に役立つ「流れ図」
7. 特別支援学級の実態

- ・ 特別支援学校の教育課程において特別に設けられた指導領域
- ・ 特別支援学級において特別の教育課程を編成する場合に、「障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れること。」と示されている。

「自立活動」でめざすこと

～自立活動の目標～

個々の児童又は生徒が**自立を目指し、**
障害による学習上又は生活上の**困難を主体的**
に改善・克服するために必要な知識、技能、
態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発
達の基盤を培う。



第 1 問



問題です。
○か×で答えてください。



第1問

「自立活動」のめざす
「**自立**」は、自分で何でも
できることである。

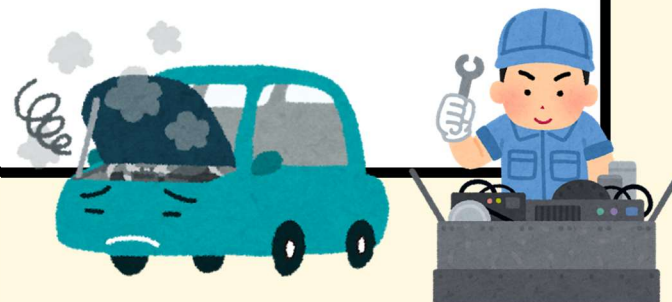
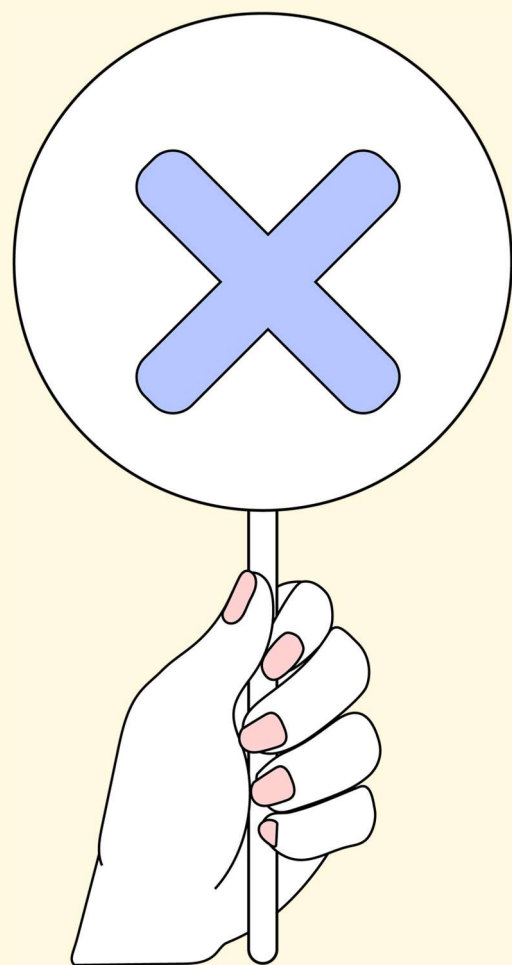


正解は×です。



答えの解説

自分一人で何でも解決できることをめざしているわけではありません。困ったときに**助けを求めて解決することも「自立」**に当たります。



「自立活動」でめざすこと

～「自立」とは～

児童生徒がそれぞれの障害の状態や発達の
段階等に応じて、**主体的に自己の力を可能な
限り発揮し、よりよく生きていこうとするこ
と**



「自立活動」でめざすこと

～自立活動の目標～

個々の児童又は生徒が自立を目指し、
障害による学習上又は生活上の**困難を主体的
に改善・克服**するために必要な知識、技能、
態度及び習慣を養い、もって**心身の調和的発
達の基盤を培う。**



「自立活動」でめざすこと

「心身の調和的発達の基盤を培う」

心身の調和的発達

教科

教科

教科

教科

教科

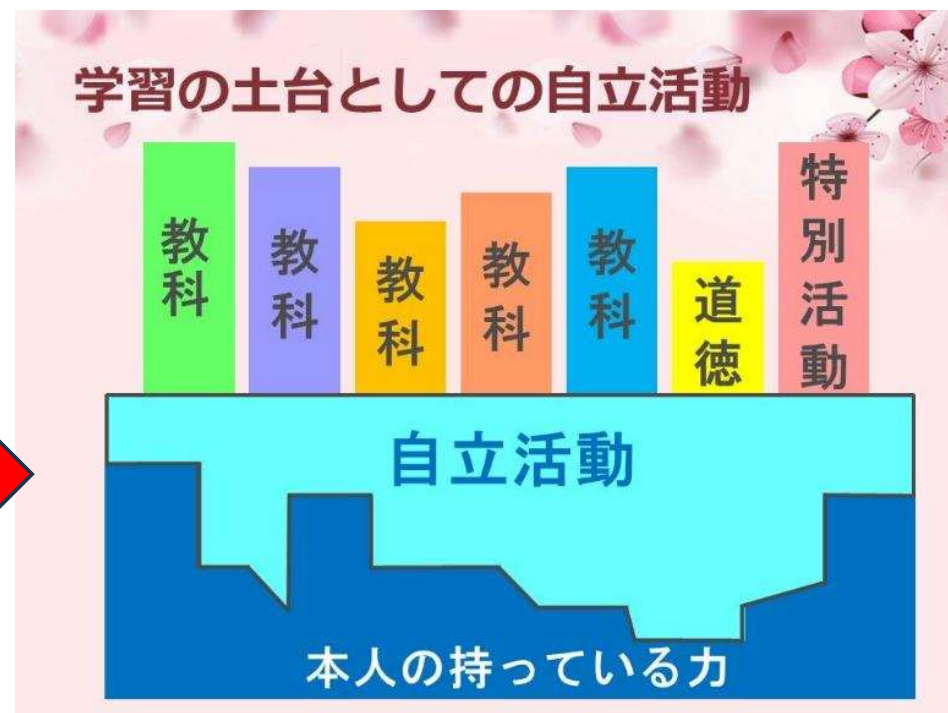
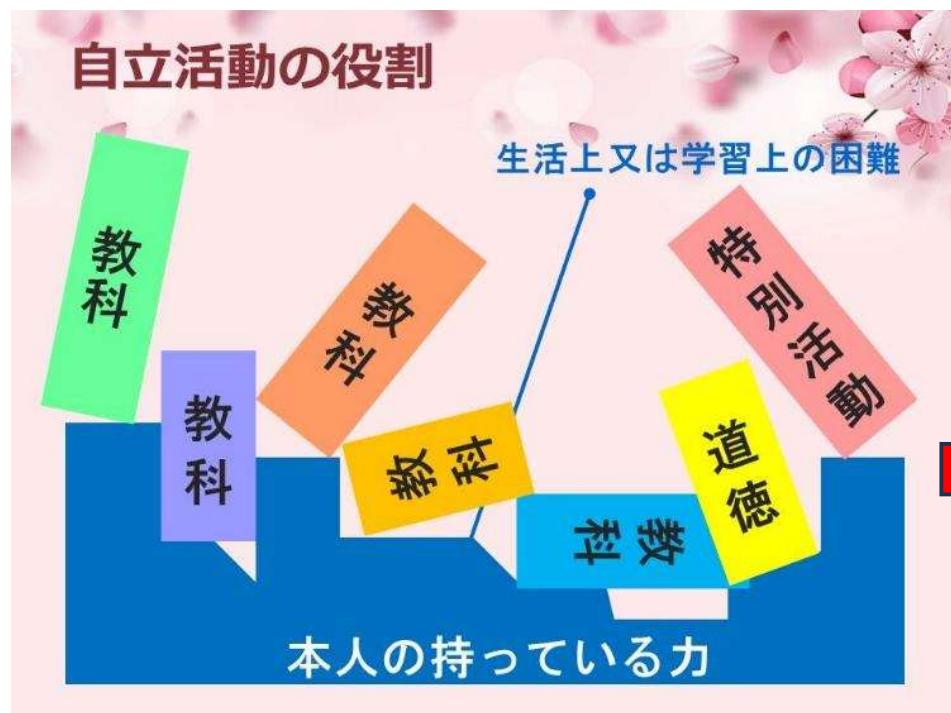
道徳

特別活動

基盤

自立活動

「自立活動」でめざすこと



各教科等において育まれる資質・能力を
支える役割

03

「自立活動」の指導内容って？

「6区分27項目」の指導内容があります





1 健康の保持

- ①生活のリズムや生活習慣の形成に関する
こと
- ②病気の状態の理解と生活習慣に関する
こと
- ③身体各部の状態の理解と養護に関する
こと
- ④障害の特性の理解と生活環境の調整に
関すること
- ⑤健康状態の維持・改善に関する
こと

2 心理的な安定

- ①情緒の安定に関する
こと
- ②状況の理解と変化への対応に
関すること
- ③障害による学習上又は生活上の困難
を改善・克服する意欲に関する
こと

3 人間関係の形成

- ①他者とのかかわりの基礎に
関すること
- ②他者の意図や感情の理解に
関すること
- ③自己の理解と行動の調整に
関すること
- ④集団の参加の基礎に
関すること

4 環境の把握

- ①保有する感覚の活用に関する
こと
- ②感覚や認知の特性についての理解と
対応に
関すること
- ③感覚の補助及び代行手段の活用
に
関すること
- ④感覚を総合的に活用した周囲の
状況に
ついての把握と状況に応じた行動
に
関すること
- ⑤認知や行動の手がかりとなる
概念の
形成
に
関すること

5 身体の動き

- ①姿勢と運動・動作の基本的技能
に
関すること
- ②姿勢保持と運動・動作の補助的
手段
の活用
に
関すること
- ③日常生活に必要な基本動作に
関
すること
- ④身体の移動能力に関する
こと
- ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行
に
関すること

6 コミュニケーション

- ①コミュニケーションの基礎的
能力
に
関すること
- ②言語の受容と表出に関する
こと
- ③言語の形成と活用に関する
こと
- ④コミュニケーション手段の選
択と
活用
に
関すること
- ⑤状況に応じたコミュニケーション
に
関すること



第2問

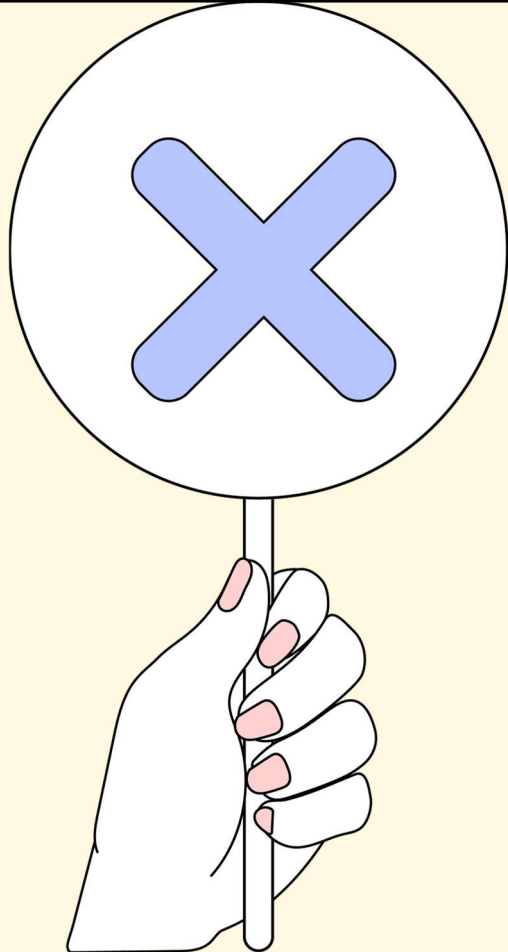


問題です。
○か×で答えてください。

第2問



自立活動の指導内容である
「6区分27項目」は全て
取り扱わなくてはならない。



正解は×です。

答えの解説

「**6区分27項目**」の中から
児童に必要な項目を**選んで**
指導します。



**実態把握が
重要！！**



第 3 問



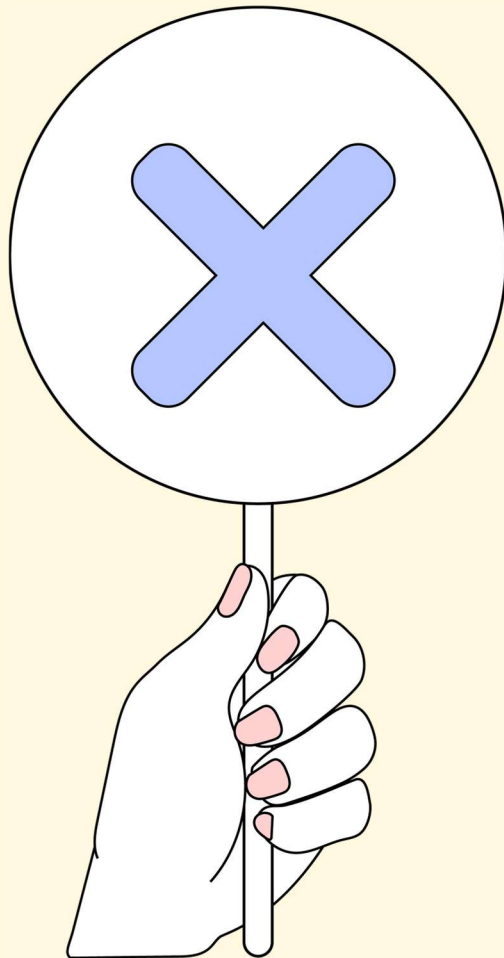


問題です。
○か×で答えてください。

第3問

自立活動の指導は
特別支援学級の自立活動の
時間のみ行う。





正解は×です。

答えの解説

自立活動の指導は、**学校の教育活動全体を通じて行う**ものであり、**自立活動の時間における指導は、その一部**である。



指導はいつするの？

●「自立活動」の指導の場面

*指導の場面は、大きく3つあります。

1 特設された「自立活動の時間における指導」

2 各教科等と関連を図って行う「自立活動の指導」

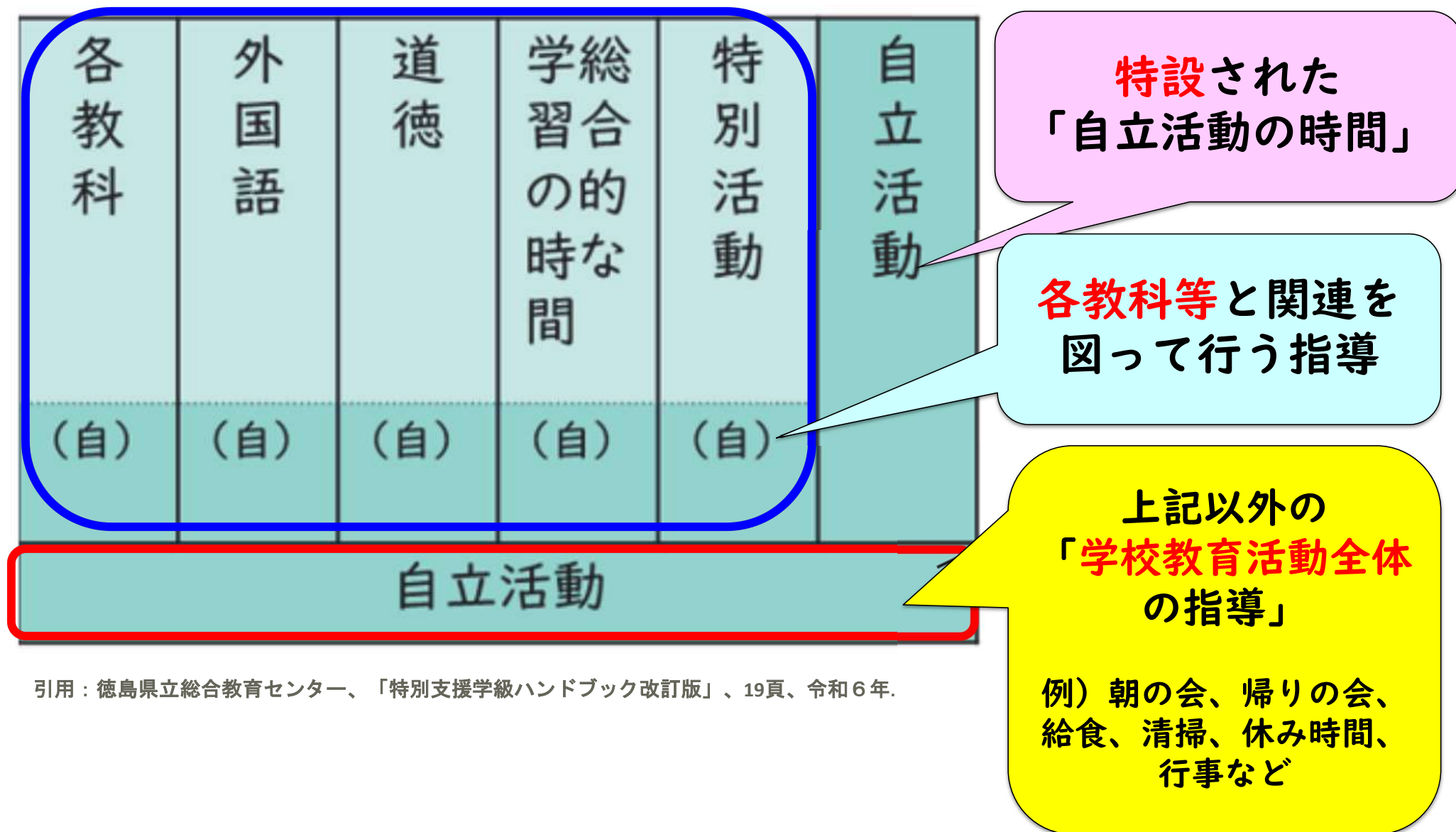
3 上記以外の「学校の教育活動全体の指導」

自立活動は、授業時間を特設して行う自立活動の時間における指導を中心とし、各教科等の指導においても、自立活動の指導と密接な関連を図って行います。自立活動の時間における指導は、学校における自立活動の指導の「要」となる重要な時間であり、個別の指導で学んだことを、交流学級など集団でも生かしていけるよう、指導・支援していきます。そのため、授業時間を週当たり1単位時間以上特設し、時間割に位置付ける必要があります。

また、学校の教育活動全体を通じて行うものでもあります。

各教科	外国語	道徳	学総 習合 的時 間	特別 活動	自立 活動
(自)	(自)	(自)	(自)	(自)	
自立活動					

引用：徳島県立総合教育センター、「特別支援学級ハンドブック改訂版」、19頁、令和6年。



引用：徳島県立総合教育センター、「特別支援学級ハンドブック改訂版」、19頁、令和6年。



04

指導はいつするの？

指導の中心であり「要」となる

① 特設された「自立活動の時間」

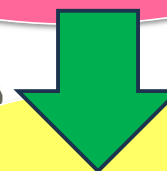
↑ 特別支援学級で指導を行う

↓ 特別支援学級での場面に限らず様々な場面が想定される

② 各教科等と関連を図って行う指導

③ 上記以外の「学校教育活動全体の指導」

定着



般化

定着した
スキルを
実際に使う

効果的な指導はどのように進める？



定着

～なスキルの
練習をしています。



交流学級を
はじめ、
教職員との連携



般化

～な場面で行動
を見守りました

～な場面で
褒めました



これからもやってみよう！

効果的な指導になりにくい例



定着

般化

交学経
は
教職員連携

みんなやってるのに！

～なスキルの練習をしています。

ぼくなり、
がんばって
いたんだけどな...





① 児童の実態の記入

「6区分27項目」の視点から、児童の**中心的な課題**を分析



② 目標の設定



③ 指導内容を設定

(指導場面に分けて)

● 指導内容設定の例(具体的な流れ図の例)

流れ図を簡略化したシート等を作成するなどして、指導内容を考えてみましょう。

実 態						自立活動の内容 (6区分27項目)																
1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション																	
□(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する項目 ・手洗いやマスク △ ・野歩き ・時間内の食事△	□(1)情緒の安定に関する項目 ・落ち着かない。 ・集団行動のペースに合わせ、機嫌を起す。	□(1)他者とのかわり基盤に関する項目 ・協力することが難しい。 ・しつこく問わり過ぎることがある。	□(1)所有する感覚の活用に関する項目 ・注意を向けたり、指示を聞いて動いたりすることが難しい。	□(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する項目 ・(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する項目	□(1)コミュニケーションの基礎的スキルに関する項目 ・(1)コミュニケーションの基礎的スキルに関する項目	① 児童生徒の実態について記入 ・児童生徒の全体像を捉えて、自立活動の内容(6区分27項目)の解説を踏まえて整理する。 ・簡潔に、実態について記入する。																
□(2)病気の状態の理解と生活管理に関する項目	□(2)状況の理解と変化への対応に関する項目 ・順番が待てず、いらがらすことが多い。	□(2)他者の意図や感情の理解に関する項目 ・相手の気持ちを考え行動することが難しい。	□(2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する項目	□(2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する項目	□(2)言語の発音と表出に関する項目 ・相手の話を受け入れることが難しい。																	
□(3)身体各部の状態の理解と生活環境の調整に関する項目 ・改善しようとする意識があまり見られない。	□(3)自己の理解と行動の調整に関する項目 ・衝動的な行動・同じ注意を受けることが多い。	□(3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する項目	□(3)日常生活に必要な基本動作に関する項目	□(3)言語の形成と活用に関する項目	□(3)言語の形成と活用に関する項目																	
□(4)種がいの特性の理解と生活環境の調整に関する項目	□(4)集団への参加の基盤に関する項目 ・ルールが守れない。 ・場の状況に合った行動をすることが難しい。	□(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する項目	□(4)日常生活に必要な基本動作に関する項目	□(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する項目	□(4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する項目																	
□(5)健康状態の維持・改善に関する項目	□(5)認知や行動の基盤に関する項目 ・場面や状況に合わない行動をすることが多い。	□(5)認知や行動の基盤に関する項目 ・場の状況に合った行動をすることが難しい。	□(5)作業に必要な動作と内発的な行動に関する項目	□(5)状況に応じたコミュニケーションに関する項目	□(5)状況に応じたコミュニケーションに関する項目																	
中心的な課題 自分や相手の気持ちを大切に行動したり、自分の役割を果たしたりすることができる。						② 課題となるものに、✓を記入 課題として、あてはまる項目の口に✓を入れる。 学習上又は生活上の難しさだけでなく、既にできていること、支援があればできることなども考慮する。																
長期目標 ・ルールを守って、友達と一緒に活動することができる。 ・自分の気持ちや感情を自分で調整することができる。																						
短期目標 ・友達と協力して掃除や係の仕事をするすることができる。																						
具体的な指導内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>指導場面</th> <th>自立活動の時間における指導(選定した項目)</th> <th>教育活動全体</th> <th>教科等</th> <th>項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">自立活動に関する指導(選定した項目)</td> <td rowspan="4">教育活動全体</td> <td rowspan="4">教科等</td> <td>・清掃や係の仕事の仕方について学習する。 ・友達と協力してできるゲームや、制作活動を行う。</td> <td>2-(2)</td> </tr> <tr> <td>・スケールを使用した自分の気持ちを把握する方法を学習する。 ・場面に応じた適切な行動について、ロールプレイで具体的に練習を行う。</td> <td>2-(1)</td> </tr> <tr> <td>・友達と協力して係活動や当番活動ができるよう見守り、周囲の状況を知らせることや、状況の変化に応じた行動がとれるようことばをかける。(給食や掃除の時間)</td> <td>3-(4) 4-(4)</td> </tr> <tr> <td>・働くことの大切さや自分の役割を理解して、みんなのために役立とうとする意欲を養う。(道徳、学級活動)</td> <td>4-(4)</td> </tr> </tbody> </table>						指導場面	自立活動の時間における指導(選定した項目)	教育活動全体	教科等	項目	自立活動に関する指導(選定した項目)	教育活動全体	教科等	・清掃や係の仕事の仕方について学習する。 ・友達と協力してできるゲームや、制作活動を行う。	2-(2)	・スケールを使用した自分の気持ちを把握する方法を学習する。 ・場面に応じた適切な行動について、ロールプレイで具体的に練習を行う。	2-(1)	・友達と協力して係活動や当番活動ができるよう見守り、周囲の状況を知らせることや、状況の変化に応じた行動がとれるようことばをかける。(給食や掃除の時間)	3-(4) 4-(4)	・働くことの大切さや自分の役割を理解して、みんなのために役立とうとする意欲を養う。(道徳、学級活動)	4-(4)	③ 課題とする区分を線で結ぶ 記入した項目が多いものを選び出す。 (課題を絞り込んだり、優先順位を決めたりする。)
指導場面	自立活動の時間における指導(選定した項目)	教育活動全体	教科等	項目																		
自立活動に関する指導(選定した項目)	教育活動全体	教科等	・清掃や係の仕事の仕方について学習する。 ・友達と協力してできるゲームや、制作活動を行う。	2-(2)																		
			・スケールを使用した自分の気持ちを把握する方法を学習する。 ・場面に応じた適切な行動について、ロールプレイで具体的に練習を行う。	2-(1)																		
			・友達と協力して係活動や当番活動ができるよう見守り、周囲の状況を知らせることや、状況の変化に応じた行動がとれるようことばをかける。(給食や掃除の時間)	3-(4) 4-(4)																		
			・働くことの大切さや自分の役割を理解して、みんなのために役立とうとする意欲を養う。(道徳、学級活動)	4-(4)																		
④ 中心的な課題について記入 課題同士がどのように関連しているかを整理して、導き出す。「原因と結果」「相互関連」、「発達や指導の順序」など																						
⑤ 長期目標・短期目標を記入																						
⑥ 具体的な指導内容を記入 明確な根拠のもと、選定した項目に関連付けて、具体的な指導内容を設定する。 指導場面と指導内容を対応させて設定する。 関連する自立活動の内容(項目)についても記入する。																						

実態把握に役立つ「早見表」

児童の様子を思い浮かべながら、チェックを入れていきましょう。

参考例

自立活動の指導の関連する項目（早見表）

	気になる行動(例)	関連項目	指導内容(例)		気になる行動(例)	関連項目	指導内容(例)
1 健康の保持	☐ 昼夜逆転生活・睡眠の欠乏または過眠。 ☐ 偏食、少食・過食がある。 ☐ 常に長袖または半袖。 ☐ 不潔な状態。(爪、歯、体、髪の毛等)	(1)生活のリズムや健康な生活習慣の形成	☐ 規則正しい生活・睡眠のリズム ☐ 食事や排泄 ☐ 衣服の調節、室温調節や換気 ☐ 清潔	5 身体 の 動 き	☐ 視力が悪いのに眼鏡をかけない。 ☐ 支援機器(補聴器等)の管理ができない。 ☐ ICT等の活用にも慣れない。	(3)感覚の補助及び代行手段の活用	☐ 感覚の補助・代行手段の活用 ☐ 操作方法の習得
	☐ 自分の病気の理解が難しい。 ☐ ストレスの要因の理解、対応が難しい。 ☐ 服薬している薬の理解と管理が難しい。 ☐ 怪我の痛みが分からない時がある。 ☐ 自分の身体に関心がない。	(2)病気の状態の理解と生活管理	☐ 自分の病気への理解 ☐ ストレスへの対応や発散方法 ☐ 体調面・生活面の自己管理 ☐ 身体各部の状態の理解(皮膚、骨等) ☐ 患部の保護 ☐ 身体を養護する力・自己管理		☐ 複雑な情報をまとめて、総合的に判断したり活用したりする活動が苦手。 ☐ 場面や状況から、やるべきことを見出すことが難しい。(整理整頓、掃除等) ☐ 抽象的概念の理解が難しい。 ☐ 口頭指示が通りにくく、具体物がないと理解が難しい。 ☐ 状況に合わない行動をとる。	(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握と状況に応じた行動	☐ 保有する感覚や代行手段により収集した情報を総合的に活用する力 ☐ 自分の身体の動き(粗大運動、微細運動) ☐ 場面や状況の把握と、判断及び行動
	☐ 失敗から、自分を否定的に捉えてしまう。 ☐ 大きな音があると不安定になる。 ☐ 体力がない。 ☐ 暴飲暴食、偏食、食生活に課題がある。 ☐ 運動量が少ない。	(3)身体各部の状態の理解と養護 (4)障がい者の特性の理解と生活環境の調整 (5)健康状態の維持・改善	☐ 自分の障がい特性の理解 ☐ 行動調整や生活環境を整える力 ☐ 体力向上の基礎知識 ☐ 肥満予防・改善 ☐ 食と栄養 ☐ 適切な運動方法・運動量の確保		☐ 常に、体が動く。椅子に座れない。 ☐ 起立の姿勢維持が難しい。 ☐ 運動が苦手。(走る、投げる、取る、模倣)	(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	☐ 概念の形成 (ものの機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間、時間、左右等)
	☐ 常に、イライラ、落ち着きがない。 ☐ 状況が変化すると不安になる。 ☐ 集団行動が苦手、参加できない。 ☐ 場面や状況の理解が難しい。 ☐ 急な変更の受け入れが難しい。 ☐ 順番や勝敗、やり方で、パニックになる。 ☐ 興味・関心の偏り。 ☐ 成功体験が少なく、意欲がもてない。 ☐ 夢中になることが少ない。	(1)情緒の安定 (2)状況の理解と変化への対応 (3)障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	☐ 不安要因や興奮要因の解明と適切な対応 ☐ 自分の気持ちを伝える力 ☐ 自分に合う活動の方法 ☐ 自分のよさ ☐ スケジュールや課題の理解 ☐ 場面・状況に応じた行動の仕方 ☐ 他者とのやり取りと、援助依頼 ☐ 自分の特性の理解と受容 ☐ 困難な状態を改善・克服しようとする意欲 ☐ 先人・先輩の生き方や考え方		☐ 必要な補助用具の活用にも慣れない。 ☐ 靴ひも結び、ボタン等ができない。 ☐ はさみ、カッター、定規、分度器、消しゴム等の扱いが不器用。 ☐ 身体的機能上の課題により、一人で移動することができない。 ☐ 作業活動に取り組むことが苦手。 (制作、調理等での手先を使った活動) ☐ すぐに飽きる。	(1)姿勢と運動・動作の基本的技能 (2)姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 (3)日常生活に必要な基本動作 (4)身体の移動能力	☐ 基本動作(姿勢保持、上肢・下肢の運動・動作) ☐ 運動 ☐ 筋緊張の弛緩 ☐ 基本動作の改善・習得のための、補助用具の適切な使用方法(セッティング、収納、調整等) ☐ 身近な処理を身に付ける ☐ 学習用具の扱い方 ☐ ユニバーサルデザインの用具の扱い方 ☐ 移動能力の向上
	☐ 教師や友達に不信感がある態度。 ☐ 他者に関心がない。共同での活動が難しい。 ☐ 双方向の会話、やりとりが苦手。	(1)他者との関わり基礎	☐ 人に対する信頼感 ☐ 他者の存在の気づきと、関わり合う素地 ☐ 他者とのやりとり、気持ちの共有	6 コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン	☐ 人に伝えようとする意識が少ない。 ☐ 教師や友達に、あまり関心がない。 ☐ 身振り等の意味の理解や活用が難しい。 ☐ 会話での語彙が少ない。 ☐ 相手の話を受け入れることが難しい。 ☐ 考えを整理して話すのが難しい。 ☐ 生活上使う言葉や語彙の理解不足。 (物の名前、形容表現、抽象表現) ☐ 文章の読解力が乏しい。 ☐ 助詞等の理解不足。	(5)作業に必要な動作と円滑な移行	☐ 手指の巧緻性の向上 ☐ 目と手の協応 ☐ 姿勢や作業に関する持続力の向上
3 人間関係の形成	☐ 教師や友達の言葉の意図や感情の理解が難しい。 ☐ 表情や声の調子、身振りから相手の感情を理解するのが難しい。 ☐ 何度も同じ注意を受ける。 ☐ 衝動的な行動を抑えられない。 ☐ 気持ちが急いで、失敗することがある。 ☐ 場面や状況に応じた行動が難しい。 ☐ ルールや決まりを守ることが難しい。 ☐ 集団活動に参加することが難しい。	(2)他者の意図や感情の理解 (3)自己の理解と行動の調整 (4)集団への参加の基礎	☐ 様々な場における他者の意図や感情の理解 ☐ 声の抑揚や調子の変化による感情の理解 ☐ 表情や身振りによる感情の理解 ☐ 自分の得意・不得意についての理解 ☐ 自分の行動特性についての理解と行動調整 ☐ 集団行動の中で状況に応じた行動 ☐ 集団参加の手順や決まり、質問の仕方 ☐ 話し方、行動の仕方、相手の受け止め方 ☐ 集団への積極的な参加		☐ 人に伝えようとする意識が少ない。 ☐ 教師や友達に、あまり関心がない。 ☐ 身振り等の意味の理解や活用が難しい。 ☐ 会話での語彙が少ない。 ☐ 相手の話を受け入れることが難しい。 ☐ 考えを整理して話すのが難しい。 ☐ 生活上使う言葉や語彙の理解不足。 (物の名前、形容表現、抽象表現) ☐ 文章の読解力が乏しい。 ☐ 助詞等の理解不足。	(1)コミュニケーションの基礎的能力 (2)言語の受容と表出 (3)言語の形成と活用	☐ 伝えたい気持ちの育成 ☐ 伝えたい内容の拡充 ☐ 伝える手段の拡充(語彙、カード、身振り等) ☐ 相手の意図を受け止め、自分の考えを伝える力(話し言葉、絵、記号、文字の活用) ☐ 明確な発音(構音・音韻意識) ☐ 語彙の習得と言葉のやりとり ☐ 言葉と事物等を結び付けるなどした、概念の形成 ☐ 文法の理解
	☐ 物を見る時、顔や見る物をかたむける。 ☐ 聞く力が弱い。 ☐ 運動・動作に制限や偏りがある。	(1)保有する感覚の活用	☐ 視覚、聴覚、触覚などの保有する感覚の活用と情報収集 ☐ 得た情報をことばで表現する力 ☐ 自分の身体の調整、補装具の特徴に応じた活用		☐ ICT、文字ボード等を活用したコミュニケーション手段にも慣れない。	(4)コミュニケーション手段の選択と活用	☐ ICTや文字、写真、絵カード、メモ等の代替手段の自己選択と活用 ☐ 他者に伝えることの楽しさと充実感
4 環境の把握	☐ 書き、算数、図形等が苦手。 ☐ 指示を聞いて、自ら考え、判断して行動することが難しい。 ☐ 音や触覚などの過敏からパニックになる。	(2)感覚や認知の特性についての理解と対応	☐ 感覚や認知の特性に対する適切な対応 (聞いたこと、見たこと、考えたことの記憶、思考、判断、決定、推理、イメージを形成する等) ☐ 不快なものの回避や経験による耐性。		☐ 話に割り込む、場違いな質問をする。 ☐ 字義通りに受け取る。 ☐ 場面や状況にあったやりとりが苦手。(メモを取る、うなずく等の話し方)	(5)状況に応じたコミュニケーション	☐ 相手の立場や気持ち、場面や状況に応じた会話、言葉遣い(聞き方・メモの取り方・質問の仕方・報告の仕方・話し方等)

*この資料は、福島県特別支援教育センターが提供している早見表と、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編を参考に作成しました。



課題を抽出する視点（例）

- ・「できること」「もう少しでできること」「援助があればできること」「できないこと」などを整理し検討する。
- ・「もう少しでできること」のうち、課題が改善されると発達が促され、他の課題の改善にもつながっていくものを中心的な課題として捉えてみる。
- ・「できないこと」のうち、数年間指導を継続してきたにも関わらず習得につながる変化が見られないものなどは、指導すべき課題の対象から外してみる。
- ・現在に至る背景や学校で指導可能な残りの在学期間、数年後や卒業までに育みたい力との関係などを考慮する。

● 指導内容設定の例（具体的な流れ図の例）

流れ図を簡略化したシート等を作成するなどして、指導内容を考えてみましょう。

実 態						自立活動の内容 (6区分27項目)
1 健康の保持	2 心身の安定	3 人間関係の形成	4 環境の認識	5 身体の動き	6 コミュニケーション	
□(1)生活のリズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(1)情緒の安定に寄与すること	□(1)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(1)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(1)運動や運動の基礎に寄与すること	□(1)コミュニケーションの基礎に寄与すること	① 児童生徒の実態について記入 ・児童生徒の全体像を捉えて、自立活動の内容(6区分27項目)の解説を踏まえて整理する。 ・簡潔に、実態について記入する。
□(2)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(2)情緒の安定に寄与すること	□(2)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(2)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(2)運動や運動の基礎に寄与すること	□(2)コミュニケーションの基礎に寄与すること	② 課題となるものに、✓を記入 ・課題として、あてはまる項目の□に✓を入れる。 ・学習上又は生活上の難しだけでなく、既にできていること、支援があればできることなども考慮する。
□(3)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(3)情緒の安定に寄与すること	□(3)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(3)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(3)運動や運動の基礎に寄与すること	□(3)コミュニケーションの基礎に寄与すること	③ 課題とする区分を線で結ぶ ・記入した項目が多いものを選び出す。 (課題を絞り込んだり、優先順位を決めたりする。)
□(4)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(4)情緒の安定に寄与すること	□(4)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(4)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(4)運動や運動の基礎に寄与すること	□(4)コミュニケーションの基礎に寄与すること	④ 中心的な課題について記入 ・課題同士がどのように関連しているかを整理して、導き出す。「原因と結果」「相互関連」、「発達や指導の順序」など
□(5)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(5)情緒の安定に寄与すること	□(5)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(5)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(5)運動や運動の基礎に寄与すること	□(5)コミュニケーションの基礎に寄与すること	⑤ 長期目標・短期目標を記入 ・明確な根拠のもと、選定した項目に関連付けて、具体的な指導内容を設定する。 ・指導場面と指導内容を対応させて設定する。 ・関連する自立活動の内容(項目)についても記入する。
□(6)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(6)情緒の安定に寄与すること	□(6)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(6)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(6)運動や運動の基礎に寄与すること	□(6)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(7)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(7)情緒の安定に寄与すること	□(7)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(7)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(7)運動や運動の基礎に寄与すること	□(7)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(8)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(8)情緒の安定に寄与すること	□(8)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(8)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(8)運動や運動の基礎に寄与すること	□(8)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(9)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(9)情緒の安定に寄与すること	□(9)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(9)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(9)運動や運動の基礎に寄与すること	□(9)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(10)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(10)情緒の安定に寄与すること	□(10)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(10)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(10)運動や運動の基礎に寄与すること	□(10)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(11)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(11)情緒の安定に寄与すること	□(11)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(11)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(11)運動や運動の基礎に寄与すること	□(11)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(12)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(12)情緒の安定に寄与すること	□(12)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(12)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(12)運動や運動の基礎に寄与すること	□(12)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(13)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(13)情緒の安定に寄与すること	□(13)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(13)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(13)運動や運動の基礎に寄与すること	□(13)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(14)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(14)情緒の安定に寄与すること	□(14)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(14)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(14)運動や運動の基礎に寄与すること	□(14)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(15)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(15)情緒の安定に寄与すること	□(15)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(15)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(15)運動や運動の基礎に寄与すること	□(15)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(16)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(16)情緒の安定に寄与すること	□(16)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(16)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(16)運動や運動の基礎に寄与すること	□(16)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(17)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(17)情緒の安定に寄与すること	□(17)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(17)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(17)運動や運動の基礎に寄与すること	□(17)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(18)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(18)情緒の安定に寄与すること	□(18)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(18)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(18)運動や運動の基礎に寄与すること	□(18)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(19)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(19)情緒の安定に寄与すること	□(19)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(19)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(19)運動や運動の基礎に寄与すること	□(19)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(20)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(20)情緒の安定に寄与すること	□(20)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(20)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(20)運動や運動の基礎に寄与すること	□(20)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(21)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(21)情緒の安定に寄与すること	□(21)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(21)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(21)運動や運動の基礎に寄与すること	□(21)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(22)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(22)情緒の安定に寄与すること	□(22)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(22)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(22)運動や運動の基礎に寄与すること	□(22)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(23)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(23)情緒の安定に寄与すること	□(23)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(23)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(23)運動や運動の基礎に寄与すること	□(23)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(24)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(24)情緒の安定に寄与すること	□(24)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(24)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(24)運動や運動の基礎に寄与すること	□(24)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(25)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(25)情緒の安定に寄与すること	□(25)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(25)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(25)運動や運動の基礎に寄与すること	□(25)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(26)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(26)情緒の安定に寄与すること	□(26)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(26)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(26)運動や運動の基礎に寄与すること	□(26)コミュニケーションの基礎に寄与すること	
□(27)生活リズムや生活習慣の形成に関する事項に該当すること	□(27)情緒の安定に寄与すること	□(27)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(27)協定や約束の履行の基礎に寄与すること	□(27)運動や運動の基礎に寄与すること	□(27)コミュニケーションの基礎に寄与すること	

引用：徳島県立総合教育センター、「特別支援学級
ハンドブック改訂版」、21頁、令和6年。

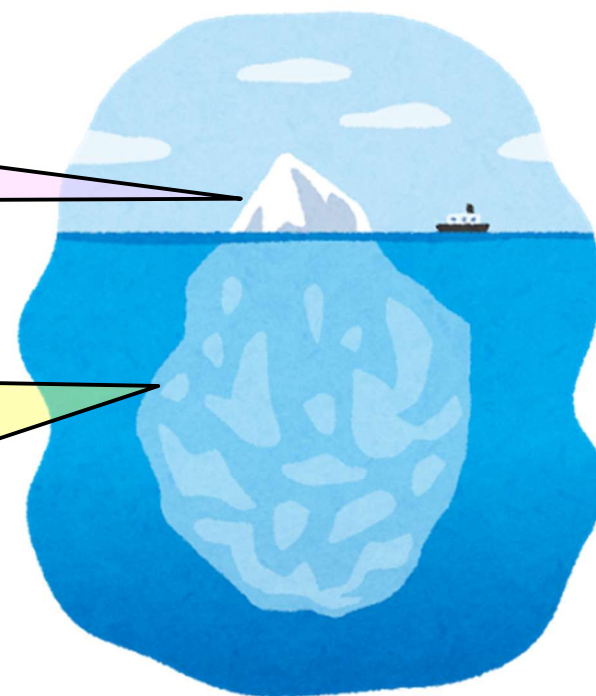
実態把握に役立つ「流れ図」



課題の関連や順序の検討 ～「冰山モデル」で考える～

【気になる行動】

【要因】
何だと思われますか？



複数の教員で検討すると、様々な立場や視点から知見を得られ、よりよい課題設定になります。

実態把握に役立つ「流れ図」



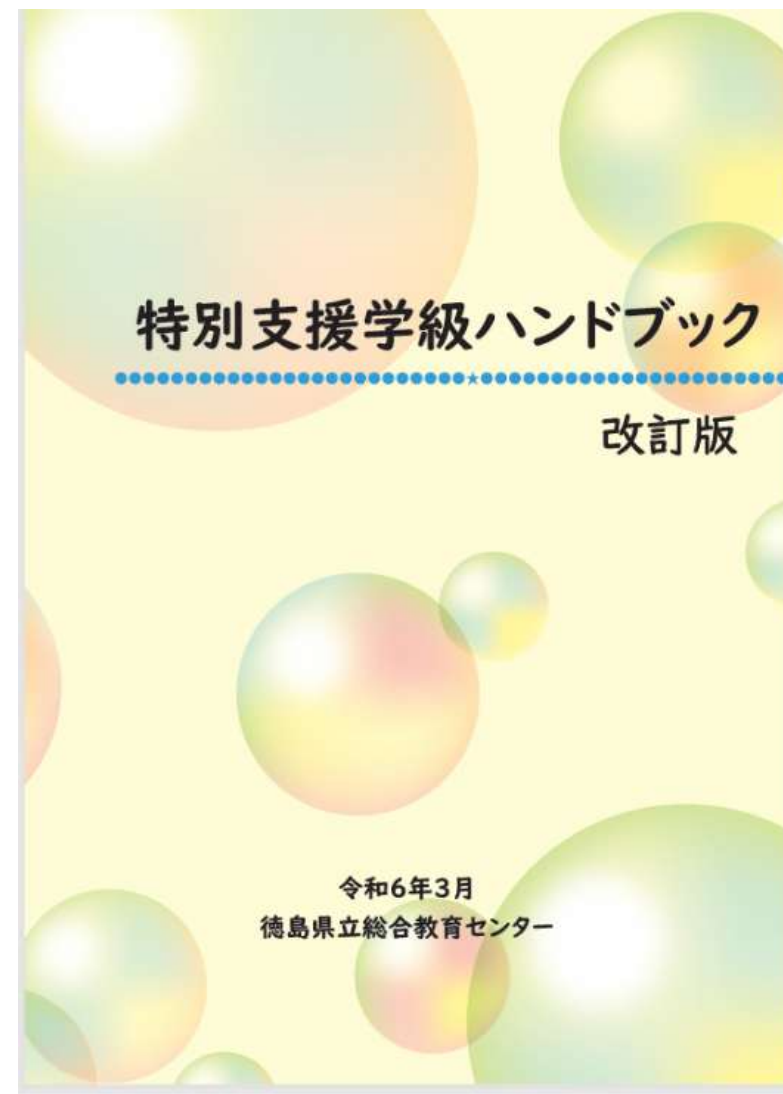
☆詳しく知りたい方は、
こちらをご覧ください→

徳島県立総合教育センター

「特別支援学級ハンドブック改訂版」

令和6年3月、9頁-21頁

<https://www.tokushima-ec.ed.jp/tokusou/tokubetsushien/siryo#s16>



ひとりひとりがよりよく生きられるように

児童の実態の**共通理解**から、さっそく始めよう！

- ・ 自立活動の時間の指導の様子
- ・ 特別支援学級での様子
- ・ 交流学級での様子
- ・ 児童の気になる行動
- ・ 児童のよいところ

など



※本コンテンツのイラストは、みふねたかし「かわいいフリー素材集いらすとや」より引用しています。

※本コンテンツの音声は、「VOICEVOX:四国めたん」で作成しています。